



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

関西支部の活動状況

はじめに

コロイドおよび界面化学部会関西支部では、毎年夏に主に学生や若手研究者を対象とした「関西界面科学セミナー」を、冬には企業の研究者・技術者向けに「コロイド・界面実践講座」を開催しています。2010年度から、部会が主催する「界面コロイドラーニング」が大阪でも開催されるようになり、主に関西地域の皆様にも日帰りでコロイド・界面化学の基礎を学ぶ場を提供できるようになりました。一方、関西支部の夏のセミナーは、「界面コロイドラーニング」とは違った切り口で基礎を学ぶよう企画しています。

今年は7月14日(土)に関西大学千里山キャンパスで「第36回関西界面科学セミナー：ソフトコロイドの界面構造および機能制御-基礎から応用まで」を開催しましたので、ご紹介させていただきます。

第36回関西界面科学セミナー

化粧品、香料品、製薬、塗料や電子材料など我々の身の回りの広範な製品開発において、表面・界面の構造制御や、表面・界面への機能の付与は欠かせません。今回は、高分子、界面活性剤、脂質



第36回関西界面科学セミナーの様子

膜からなるソフトコロイドに関する研究分野で活躍されている研究者を中心に講師としてお招きし、最先端の研究について基礎からわかりやすく解説していただきました。ご講演は(1)秋山庸子先生(阪大)「身近なソフトコロイドの機能設計～高分子と界面活性剤の相互作用～」, (2)原田敦史先生(大阪府大)「PEG鎖連結高分子電解質の自己組織化におけるPEG鎖の役割」, (3)安原主馬先生(奈良先端大)「脂質膜の機能・構造を操る両親媒性分子のバイオミメティック・デザイン」, (4)藤井秀司先生(大阪工大)「微粒子安定化気液分散体工学に基づく機能性材料の創出」, (5)坂井隆也先生(花王(株))「泡の新しい機能と皮膚洗浄への応用」, (6)加納博文コロイドおよび界面化学部会会長(千葉大)「分子に対するナノ空間の制約効果とガス分子が誘起する構造柔軟性MOFの構造変化」と、盛りだくさん、かつ魅力的な内容で、参加者にも大変好評でした。今回、52名の参加者の約半数は企業の研究者・技術者で、先端技術を基礎から学びたい方々の多さを実感しました。

講演終了後、学生による16件のポスター発表が行われましたが、どれも熱心



優秀ポスター賞受賞者

な質疑応答が続き、予定時間を超えてしまうほどでした。支部委員の厳正な審査の結果、桐村 誠さん(阪大)「磁気力制御による新生血管閉塞療法に関する基礎的研究」、および平野雄基さん(関西大)「両親媒性液晶高分子を用いた自己集合体の調製とその温度応答挙動」に優秀ポスター賞が授与されました。

おわりに

関西支部のもう1つの重要なイベントである「コロイド・界面実践講座」は平成31年1月に開催予定です。名前の通り、製品開発の現場ですぐに役立つ内容になるよう、現在企画を練っております。詳細が決まり次第、部会ウェブサイト(<https://colloid.csj.jp/>)でお知らせしますので、是非ご参加下さい。

関西支部の委員は大学・公的機関と企業の研究者がほぼ同数で、コロイド・界面の「基礎から応用まで」を広く、深く学ぶ機会を提供できるような企画を心がけて運営しています。今後とも関西支部の活動にご支援をよろしくお願い申し上げます。

〔2018年度関西支部長 懸橋理枝
(大阪産業技術研究所)〕

© 2018 The Chemical Society of Japan



ポスターセッションの様子